

入 目：16 kg /石油缶 消 防 法：第2石油類 危険等級Ⅲ（火気厳禁）
外 観：無色～淡黄色粘調液体 労働安全衛生法による成分と含有量：非該当
臭 気：弱溶剤臭
pH ：5.0%水溶液で9.0
有機溶剤中毒予防規則：第3種等
毒物及び劇物取締法 ：非該当

- 施工上の注意事項、要点
- ① 塗装場所の気温が5℃以下の場合、及び被塗物が40℃以上の場合、施工は避けてください。
 - ② 雨天、降雪、霧、強風など、またはそのおそれのある場合は施工は避けてください。特に、塗付後の降雨は、リセットエコが流出し軟化効果が得られなくなるおそれがありますので、注意してください。
 - ③ リセットエコは、使用前によく攪拌してください。
 - ④ 使用時は、保護メガネ、手袋等の保護具を着用して取り扱ってください。
 - ⑤ 作業中、特に室内では換気を十分に行なってください。
溶剤のガスは空気より重いので、使用している所より下にいる人にも有機溶剤取扱中であることを通知し、表示も行なってください。
 - ⑥ リセットエコ施工物件の居住区内、近隣住民居住区内に溶剤蒸気が滞留しないように注意してください。
 - ⑦ 吹付け施工の場合は、飛散防止のための養生を必ず行なってください。
 - ⑧ リセットエコが周囲に飛沫しないよう必ずハクリ範囲以外の箇所は、ポリエチレンフィルムなどで被覆養生を行なってください。ハクリ範囲を区切る場合は、境界線にカッターで素地まで切れ目を入れてください。
 - ⑨ 樹脂部分やハクリをしない部分は、水拭き後に良く乾燥してから、ガムテープと養生シートにて二重に養生してください。また養生したテープの隙間から、リセットエコや水が入らないように密着を良く確認してください。高圧洗浄にてハクリを行なう場合は、特に養生にご注意ください。また、ハクリした排水が外へ流れ出さないように養生を工夫してください。
 - ⑩ 養生シートを二重に貼っておくと、ハクリ後の塗膜剥がれを1枚目のシートに包んで処理出来るため、後片づけが簡単です。
 - ⑪ 植物がある場合は十分に散水を行なった後、直接リセットエコがかからないように養生をしてください。
 - ⑫ リセットエコを塗付したり、付着した面は滑りやすくなりますので、十分にご注意ください。
 - ⑬ 予備試験は必ず行なって、塗付量、最適軟化時間等を確認してから本施工に入ってください。
 - ⑭ 超厚膜塗膜や塗膜防水材などをハクリする場合は、1回の塗付では不十分な場合がありますので、2回塗りの必要性や塗付量など予備試験での確認をしてください。
 - ⑮ 垂直面にリセットエコを厚付けで塗付する場合は、一旦200～250 g/m²程度を塗付して、少し吸込んだら追っかけて200～250 g/m²程度を塗付するとタレずに塗付できます。
 - ⑯ 手ケレンの場合は、先端に鋭利な刃がついたタイプのケレン棒をご使用ください。通常の皮スキではハクリが困難な場合があります。
 - ⑰ 薄く塗膜片が残った部分は、無理に擦らずに軽くリセットエコを塗付して、少し放置した後にケレンすると、塗膜片をきれいに除去できて、素地も痛めません。
 - ⑱ ハクリした後は、リセットエコが残らないようにブラシなどを使い水道水で十分に洗浄、除去してください。リセットエコが残っていると、再塗装時に密着不良やフクレなどの原因になります。
 - ⑲ ハクリした後は、十分に期間をおいて乾燥させてから、塗装工事を行なってください。
 - ⑳ ハクリした塗膜片を破棄する場合は、産業廃棄物として有資格者に相談してから、処理してください。
 - ㉑ ケレン後の水洗や高圧水でハクリ洗浄を行なった水は、直接排水せずに、一旦回収して塗膜片を除去後、排水基準にそって処理してください。
 - ㉒ 商品使用説明書をお施主様にお渡しいただき、記載されている内容を事前にご説明ください。

安全衛生上の注意事項（ニッペリセットエコ）	
・本来の用途以外に使用しないでください。 ・使用前に取扱説明書を理解して、取り扱ってください。 ・熱／火花／炎／高温のもののような着火源から遠ざけてください。→ 禁煙です。 ・容器を密閉してください。 ・容器および受器を接地してください。 ・防爆型の電気機器／換気装置／照明機器を使用してください。 ・火花を発生しない工具を使用してください。 ・必要な時以外は、環境への放出を避けてください。 ・取扱い後は、手洗いおよびうがいを行ってください。 ・適切な保護手袋／防護マスク／保護眼鏡／保護面／保護衣を着用してください。 ・必要に応じて個人用保護具を使用してください。 ・飲み込んだ場合：気分が悪い時は、医師に連絡してください。口をすすいでください。 ・眼に入った場合：水で数分間注意深く洗ってください。次に、コンタクトレンズを着用していなくても外せる場合は外してください。その後も洗浄を続けてください。 ・眼の刺激が続く場合は、医師の診断／手当てを受けてください。 ・皮膚や髪に付いた場合、直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぎ取り除いてください。皮膚を流水かシャワーで洗ってください。 ・皮膚に付いた場合、多量の水と石鹸で洗ってください。 ・取り扱った後、手を洗ってください。	・皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断／手当てを受けてください。 ・直ちに、すべての汚染された衣類を脱いでください／取り除いてください。再使用する場合には洗濯してください。 ・粉じん、蒸気、ガス等を吸い込んだり、気分が悪くなった時には、安静にし、必要に応じてできるだけ医師の診察を受けてください。 ・暴露した時、気分が悪いなどの症状がある場合は、医師に連絡してください。 ・緊急の洗浄剤が必要な場合、直ちに特別処置を実施する。 ・火災時には、炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いてください。 ・水を消火に使用しない。 ・容器からこぼれた時には、布で拭き取って水を張った容器に保管してください。 ・施設して子供の手の届かないところに保管してください。 ・直射日光や水濡れは厳禁です。 ・積み重ねは3段までとしてください。 ・日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。輸送中も50℃以上の温度に暴露しないでください。 ・内容物／容器を廃棄する時には、国／地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。 ・塗料、塗料容器、塗装具を廃棄する時には、産業廃棄物として処理してください。 ・容器、塗装具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。
※上記の表示は一例です。色相などにより、容器の表示とは異なる場合があります。 □詳細な内容、表示例以外の商品については、製品安全データシート（MSDS）をご参照ください。 □本商品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前にご相談ください。	
危険	
   	危険有害性情報
引火性液体および蒸気／飲み込むと有害のおそれ／皮膚刺激／強い眼刺激／生殖能力または胎児への悪影響のおそれ／水生生物に毒性（急性）／長期的影響により水生生物に毒性	

日本ペイント株式会社

お客さまセンター
☎ 03-3740-1120
☎ 06-6455-9113

<http://www.nipponpaint.co.jp/>

●本カタログの内容については、予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
●本カタログの商品名・会社名は、日本ペイント株式会社、その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
●© Copyright 2009 NIPPON PAINT Co., Ltd. All rights reserved.



カタログNo.
NP M 241

MA090302T
2009年 3月現在

●ISO 14001 全事業所で認証取得。 ●このカタログは、再生紙を使用しています。



ファイネ ス
環境配慮形商品



塗り重ねでない本物のリフォーム。

それは建物の価値を長く保つために、

古い塗膜をはがし素地からの根本的な改修を行うことです。

しかしながらハクリ作業には、

ジクロロメタンを含む商品が一般的に使われてきました。

21世紀をむかえ人や環境への配慮がより一層求められる時代、

ハクリ剤も人や環境にやさしいものが求められています。

生分解性の材料を使用した新しい環境配慮形塗膜膨潤・軟化ハクリ剤、

それが「ニッペリセットエコ」です。

特長

- 生分解性の材料を使用しており、ジクロロメタン（塩化メチレン）を含みません。
- エアレス塗装が可能で、作業の効率が向上します。
- 柔軟・ハクリ効果の持続性が長く、作業の自由度が向上します。
- 低臭で皮膚への刺激が極めて低く、作業環境が改善します。
- 塗膜を溶解しないので、ハクリ塗膜の回収が容易です。
- H10年度版建築改修工事指針4章抜粋に該当します。

リセット（ハクリ～塗替）工程

1 予備ハクリ試験



2 リセットエコの塗布



3 浸透するまで放置



4 ハクリ施工



施工方法

- 1 予備試験で軟化時間と塗付量を確認して下さい。
- 2 刷毛またはエアレス等でリセットエコ（0.20～0.25kg/m²・標準）をむらなく塗付して下さい。
- 3 リセットエコが十分に塗膜に浸透するまで放置して下さい。もしリセットエコが揮散したり、十分な軟化効果が得られなかった場合は、再度リセットエコを塗付して塗膜が軟化するまで放置して下さい。
- 4 軟化・膨潤した塗膜をケレン棒または高圧温水等で除去して下さい。
- 5 軟化後に残存した軟化剤や旧塗膜は、ブラシ等を使用し、水道水で十分に洗い流し、除去して下さい※。
- 6 塗装までの素地の乾燥時間は充分にとして下さい。

（※リセットエコや旧塗膜が残っていると、再塗装時に密着不良やフクレなどの原因になります。）

塗膜の種類、塗膜厚とハクリ又は軟化時間（目安）

〈外装塗膜〉		
合成樹脂リシン	1mm	1～4時間
厚塗材E	2～4mm	8～24時間
複層塗材E	2～4mm	8～24時間
〈床用塗膜〉		
アクリル	100～300μ	4～18時間
ウレタン	100～300μ	8～24時間
エポキシ	100～300μ	8～24時間
〈一般塗膜〉		
ラッカー	30～60μ	10～120分
フタル酸	30～60μ	10～120分
アクリルエマルジョン	50～100μ	10～120分
焼き付けメラミン	30～60μ	20～120分

セメント（C）、ポリマーセメント（CE）、珪酸質（S）はハクリ出来ません。ハクリ時間は塗膜の種類、厚さ、素地状態、気温等により異なります。上記のハクリ時間と膜厚は目安として下さい。必ず予備ハクリ試験を行って施工時間等を確認して下さい。

塗膜をリセット
（素地診断と補修）

建物の外壁・屋根をリセットすると、建物の長寿命化と自由なデザインが可能となります。

戸建て塗替えには

シリコン伝説

水性シリコンセラUV
1液ファインシリコンセラUV
DANシリコンセラ
...

石材調

ジキトーン御影
陶磁器タイル調
ジキトーンcafe
左官仕上げ土壁調
インディアアートCERA

非住宅、集合住宅には

オーデリウォール

オーデフレッシュ F100 III
オーデフレッシュ S100 II
オーデフレッシュ U100 II
...